

■ロシア・中国：ロシアと中国が浮揚式原子力発電所を共同開発

ロシア国営原子力企業ロスアトム傘下のルスアトム・オーバーシーズ社は 2014 年 7 月 29 日、ロシアと世界最大エネルギー消費国である中国が、6 基の浮揚式原子力発電所を共同開発することを明らかにした。「浮揚式原子力発電所は、遠隔施設だけでなく、石油プラットフォームのような大規模産業施設に対しても、安定した電力を供給可能である。」とルスアトム・オーバーシーズ社 CEO の Aliev 氏は語った。ウクライナ危機に対する欧米の制裁が打撃を与え、ロシアは経済活動を、西欧から多様化を進めており、5 月には、ロシア国営ガスプロム社が、中国と 4,000 億ドルの契約を行っている。なお、ロスアトムは、2018 年に世界初の浮揚式原子力発電所事業を開始する計画をしている。この移動可能な、小容量の原子炉は遠隔地の電力供給に最適であり、ロシア極東チュコチ自治管区に配備予定である。